

平成22年12月7日

平成22年度中間損益状況について

丸善石油化学株式会社

第73期中間決算（平成22年4月1日から9月30日まで）概況

当中間期におけるわが国経済は、輸出の緩やかな回復に伴い生産などが一部持ち直したものの、急激な円高の進行や世界経済の減速懸念など先行き不透明感が強まる中、依然として厳しい状況で推移しました。

石油化学業界におきましては、中国など一部地域の需要の回復が見られたものの、基礎化学品分野では、ナフサ価格上昇による原材料費増加、中東・アジアでの大規模プラント稼働による市況の低迷、円高の進行による輸出採算の悪化などが収益を圧迫する要因となりました。こうした中、当中間期におけるわが国のエチレンプラントの生産量は前年同期比5.3%減の333万トンとなりました。

このような状況のもとで、当社は積極的な営業活動を展開し、京葉エチレン株式会社が定修年ではありましたが、販売数量は前期比1.7%増の198万トンとなりました。一方、売上高は前期比18.3%増の178,328百万円となったものの、市況低迷および固定費増加に伴う売上原価の上昇により、経常利益は3,871百万円減の1,268百万円となりました。

【中間決算】

(単位：百万円)

項目	平成22年度中間 (第73期中間)	平成21年度中間 (第72期中間)	対前年度中間比較
売上高	178,328	150,720	27,608
営業利益	1,180	5,040	△ 3,860
経常利益	1,268	5,139	△ 3,871
当期中間純利益	554	5,355	△ 4,801

(注) 記載金額は、百万円未満を切捨て表示。

【販売状況】

(単位：トン)

項 目	平成22年度中間 (第73期中間)	平成21年度中間 (第72期中間)	対前年度中間比較
エチレン	353,600	360,300	△ 6,700
プロピレン	281,300	300,900	△ 19,600
BTX	344,900	327,300	17,600
エチレングリコール	76,100	62,100	14,000
MEK	83,400	75,300	8,100
高密度ポリエチレン	39,900	48,000	△ 8,100
その他	795,800	769,000	26,800
合 計	1,975,000	1,942,900	32,100

(注) 記載数量は、百トン未満を四捨五入表示。

以 上

* お問い合わせ

丸善石油化学株式会社

人事総務部広報グループ

グループリーダー 山崎 直樹

TEL：03-3552-9361

FAX：03-5566-8391